



被災者支援窓口（平日：9:00～12:00、13:00～16:00）

【受付場所】 役場本庁舎 大会議室、富来支所

支援事業名	担当課
被災者生活再建支援制度(全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊)	環境安全課 ☎32-9321
志賀町住まい再建支援金	
義援金の申請(県第一次～五次、町一次・二次配分)	会計課 ☎32-9110
住宅の応急修理制度(全壊、大規模半壊、中規模半壊、半壊、準半壊)	住宅支援制度窓口(まち整備課内) ☎32-9211
応急仮設住宅制度(建設型)	
地域福祉推進支援臨時特例給付金	臨時特例給付コールセンター ☎ 076-225-1956
志賀町被災建物跡地防草対策助成金	総務課 ☎32-9311

被災建物の解体・撤去（公費解体）

○公費解体完了に向けて

- 自己都合（片付けや家財を置く場所を探しているなど）により解体に着手できない場合は公費解体の対象外となる場合があります。
 - 解体業者から着工の連絡が入ったときは、解体業者の日程調整にご協力をお願いします。
- ※災害ごみ富来野球場仮置場は11月29日(土)で一般受入終了しました。
- ※公費解体の申請受付は終了しています。

公費解体の進捗状況について（令和7年11月17日現在）

申請棟数	着手棟数	完了棟数	公費解体	緊急解体	自費解体
4,935	4,888	4,706	4,311	9	386
申請に対する割合	99.0%	95.4%	87.5%	0.1%	7.8%

問 環境安全課 ☎32-9321 (平日：8:30～17:15)

【令和6年能登半島地震により被害を受けた人へ】雑損控除計算書作成個別相談会開催

令和6年能登半島地震で、住宅や家財などに被害を受けた人は、確定申告において所得税法(地方税法)に定める雑損控除を適用し、所得税(住民税)が軽減される場合があります。令和6年分(5年分)の確定申告において、雑損控除の適用を受けていない人、すでに雑損控除の適用を受けた人で、令和7年中に災害に関連した費用を新たに支出した人などを対象に、個別による雑損控除の計算書作成相談会を開催します。

相談を希望する人は、事前に下記の予約専用ダイヤルへお申し込みください。

◆予約専用ダイヤル ☎080-1332-0603

(受付時間：8:30～16:00 (土)(日)(祝)を除く)

※当専用ダイヤルは、説明会最終日で閉鎖。

注) 計算した損害金額以上に保険金や各種支援金を受け取っている場合などは、雑損控除が適用されませんので予めご了承ください。

◆必要書類

- 相談相談会には下記の書類をご持参ください。
- り災証明書、被災証明書（発行を受けている人）
- 被害を受けた家屋、取得時期、取得価額、面積の分かるもの（売買（工事請負）契約書、登記簿謄本（登記事項証明書）、固定資産課税明細書など）
- 被害を受けた家財・車両の取得時期、取得価額の分かるもの（売買契約書、領収書など）
- 被害を受けた資産に対する修繕費、取壊し費用、除去費用などが分かるもの（領収書、振込通知書など）

開催日	場所	時間・定員
12月15日(月)～17日(水)	富来活性化センター 中会議室	午前の部： 9:00～12:00 午後の部： 13:00～16:00 (各20人)
12月22日(月)～24日(水)	役場本庁舎 税務課窓口	

○被害を受けた資産について、保険金や補助金などを受け取った場合（見込みを含む）、その金額が分かるもの（支払通知書、通帳の写しなど）

○令和6年分（5年分）の所得税の確定申告書、雑損控除計算書の控え（すでに雑損控除を受けた人のみ）

◆その他

相談会では雑損控除の基礎となる損害金額の計算のみを行います。所得税または住民税の申告手続きは、別途必要となりますので、ご了承ください。

問 税務課 住民税係 ☎32-9142

二十歳のつどい案内状を送付しました

令和8年『志賀町二十歳のつどい』の案内を、11月初めに、対象者へ送付しました。

住所地にも実家にも届いていない場合は、お手数でも生涯学習課まで連絡してください。

また、志賀・富来の両地域で、「二十歳のつどい実行委員」企画による「ふるさと同窓会」も開催します。

案内を同封しましたので確認してください。



(前列) 参加した中高生 (後列) 美大の先生とアシスタントの美大生

「志賀町デッサン教室」開催!

平成28年に同大学と結んだ連携協定に基づき、令和元年度にデザイン教室を開催し、その後コロナ禍、地震の影響により中止していましたが、今年度はデッサン教室を、2回開催することとしました。

1回目の教室では、「石膏デッサン—木炭で描くー」木炭での石膏デッサンをとおして美術の基礎的素養について学んできました。生徒からは、「普段見ることのできない大学を見学できて良かつた」、「初めての木炭で描く石膏デッサンに少し不安もあつたけど、描き出すとともに楽しくて時間があつたという間だった」と好評でした。

次回2回目の教室は、12月6日(土)にシルクスクリーンを体験します。

11月8日(土)、金沢美術工芸大学で「志賀町デッサン教室」を開催し、町内中学生6人と高校生2人が参加しました。

志賀町と友好都市であるアゼルバイジャン共和国を、志賀高の生徒2人が訪問します。訪問期間は12月15日(月)から19日(金)まで、同校2年生の中谷瑞輝さんと東凌汎さんが参加します。

滞在中はホームステイを通じて現地の暮らしや文化に触れるほか、交流のある「バクー世界学校」を訪問して、学生同士の交流を行う予定です。

11月4日(火)、2人は稻岡町長を訪ね、訪問への意気込みを伝えました。国際交流部に所属する中谷さんは「現地で文化の違いを学びたい」と話し、東さんは「ホームステイ先の家族とのコミュニケーションを楽しみにしている」と語りました。

志賀高生がアゼルバイジャンを訪問!



(左から) 青木校長、中谷さん、稻岡町長、東さん、礪波教諭(引率)

投稿 短歌、俳句

荒畠にほのと明るき花芙蓉 前川美代子
植えた柿けもの群に取られけり 屋敷 香陽
秋晴れや竿うめつくす洗濯物 安田紀美恵
生えそな松茸山に入りけり 高岩 满
友を訪う足に絡まる草紅葉 藤川 増野
柿をくい星空向かいローレライ
友を訪う足に絡まる草紅葉
あわててにげるジャンブジヤン 堀 禮子
エプロンを膝元におく夜寒かな 西村 博子
立ち止まり気付かされたる金木犀 土田エミ子
柿をくい星空向かいローレライ
山守 宏子
バツタさん大根の葉にかくれんぼ
あわててにげるジャンブジヤン
夕空にドローンと花火共演し
明日への希望と夢を運びぬ
猛暑日を耐えて終りし稻作も
量と品質最低ラインに
荒れ果てた田んぼ一面外来の
伸びゆく黄花尾花を越えて
なお続く被災地域の解体が
読経流るる空屋の庭を
名月に誕生祝い吾ひとり
外食友と胸中語りて
松本理希三
志津江
智子
光雄

■ 「芸術教室」に掲載する作品を募集しています。短歌、俳句、川柳については1人1首(1句)として、毎月25日までに送付してください。(紙面の都合上、掲載できない場合もありますのでご了承ください。(連絡先必須)
宛先/〒925-0198 志賀町末吉字古1-1
志賀町教育委員会生涯学習課まで

文芸教室

「門」土筆の会

荒畠にほのと明るき花芙蓉 前川美代子
植えた柿けもの群に取られけり 屋敷 香陽
秋晴れや竿うめつくす洗濯物 安田紀美恵
生えそな松茸山に入りけり 高岩 满
友を訪う足に絡まる草紅葉 藤川 増野
柿をくい星空向かいローレライ
山守 宏子
バツタさん大根の葉にかくれんぼ
あわててにげるジャンブジヤン 堀 禮子
エプロンを膝元におく夜寒かな 西村 博子
立ち止まり気付かされたる金木犀 土田エミ子
柿をくい星空向かいローレライ
山守 宏子
バツタさん大根の葉にかくれんぼ
あわててにげるジャンブジヤン
夕空にドローンと花火共演し
明日への希望と夢を運びぬ
猛暑日を耐えて終りし稻作も
量と品質最低ラインに
荒れ果てた田んぼ一面外来の
伸びゆく黄花尾花を越えて
なお続く被災地域の解体が
読経流るる空屋の庭を
名月に誕生祝い吾ひとり
外食友と胸中語りて
松本理希三
志津江
智子
光雄

名月に誕生祝い吾ひとり
外食友と胸中語りて

代子

読経流るる空屋の庭を

松本理希三

荒れ果てた田んぼ一面外来の
伸びゆく黄花尾花を越えて

志津江

なお続く被災地域の解体が

智子

光雄

令和7年 秋の叙勲

第45回
危険業務従事者
叙勲

野村 時夫 (71歳) 大島

元羽咋郡市広域圏
事務組合消防司令長

瑞宝双光章



昭和48年4月に消防士として採用されて以来、42年間にわたり地域の防災・防火体制の充実に尽力しました。消防団との連携調整や指導、救助訓練の充実、住宅用火災警報器の普及推進、防火講習会の実施などを通じ、防火・防災意識の向上に貢献しました。

心に残る活動として、初出動となつた高浜町商業施設の大規模火災への対応や、ナホトカ号重油流出事故では奥能登まで重油の漂着状況を確認に赴いたことなどが挙げられました。

「長年にわたり多くの方々に支えられました。この栄誉に恥じぬよう、感謝の気持ちを忘れず精進していきたいです」と話しました。

昭和48年4月に消防士として採用されて以来、42年間にわたり地域の防災・防火体制の充実に尽力しました。消防団との連携調整や指導、救助訓練の充実、住宅用火災警報器の普及推進、防火講習会の実施などを通じ、防火・防災意識の向上に貢献しました。

心に残る活動として、初出動となつた高浜町商業施設の大規模火災への対応や、ナホトカ号重油流出事故では奥能登まで重油の漂着状況を確認に赴いたことなどが挙げられました。

「長年にわたり多くの方々に支えられました。この栄誉に恥じぬよう、感謝の気持ちを忘れず精進していきたいです」と話しました。

志賀町・志賀町教育委員会主催 第21回 志賀町文化祭を開催しました



【志賀町文化協会合併20周年記念特別功労賞表彰者】

須磨 武子 須磨伊佐男
(大正琴愛好会) (絵画好会)

安江 真博 大島 友子
(富来郷土史研究会) (志賀町華道協会)

11月1日(土)から3日(月)の3日間、富来活性化センターと富来支所2階で志賀町・志賀町教育委員会主催による第21回志賀町文化祭が開催されました。

1日からは文化協会展示部会による各種の展示が行われ、3日には式典、志賀町合併20周年記念出演、芸能アトラクションなどが行われました。

文化の日式典では、町功労者の4人が表彰されました。また、記念出演として『浪曲師 三代目春日井梅鶯氏(鹿頭出身)』、『吉野まさき氏(三味線)』、

『桜仁会(太鼓)』による浪曲・歌謡トーキョーが行われました。観客は、軽快でありますながら深みある口演に魅了され、会場は終始笑みで溢れていきました。

午後からの志賀町文化協会合併20周年記念式典では、4人が特別功労賞を受賞しました。

式典後は文化協会芸能部会による芸能アトラクションで、詩吟や木遣唄などが披露され、口唄の練習の成果に観客から大きな拍手が送られました。